

学位論文内容の要旨

論文提出者氏名	李 洪旭
(論文題目) 中国における農業機械專業合作社の農地団地化經營の展開 —黒竜江省RF農機合作社の事例を中心に—	
<p>中国は改革開放後、人民公社制度に代わって家族請負經營責任制を導入した。これにより、農民の労働と収入を直接結び付け、農民の生産意欲を大幅に高めたが、市場經濟の發展に伴い、家族請負經營責任制の小農經營と土地の零細・分散という限界が顕在化した。様々な農民合作組織が出現し、特に2007年「農民專業合作社法」の実施以降、それに基づいて設立された農民專業合作社の数が急増してきた。</p> <p>一方、都市化の急速な推進と農村労働力の移転に伴い、耕作放棄地が増加している。農業生産効率の向上と農民収入の増加をはかるには農地の規模經營が必要である。それに対応して農業機械專業合作社の数が急速に増え、農機作業サービスの提供による農地団地化經營が展開されている。食糧生産基地とされる黒竜江省においてその傾向が特に顕著である。</p> <p>本論文は黒竜江省で農地団地化經營として有名なRF農機合作社を事例に農業機械專業合作社の農地団地化經營の展開を検討するものである。中国では農地団地化經營を行うには農地出資、剰余金分配および連合社經營が重要な課題とされる。本論文では黒竜江省RF農機合作社を事例に農地出資、剰余金分配および連合社經營という三つの經營課題への取組実態を考察し、農業機械專業合作社による農地団地化經營展開のプロセスと特徴を明らかにすることを目的としている。</p> <p>第一章「農業機械專業合作社における農地団地化經營と農地出資」は黒竜江省 RF 農機合作社の經營実態に焦点をあて、「農地出資」の導入と入社農地に対する配当方針の変動を分析し、農地団地化經營の形成経緯とその条件を明らかにしている。</p> <p>第二章「農機合作社の剰余金分配」は、農業機械專業合作社の剰余金分配に焦点をあてている。RF 農機專業合作社の剰余金分配制度の変遷を明らかにしたうえで、生産經營型農機專業合作社、つまり農地出資に応じた農機專業合作社の剰余金分配の実態を分析している。</p> <p>第三章「農民專業合作社連合社の機能と特性」では、RF 農機合作社を中心とする黒竜江省最大の LL 農民專業合作社連合社の運営実態、連合社の機能と特性を考察している。連合社は「強者同士の連合」により、外部規模經濟、業務のインテグレーションと經營イノベーションという三つの機能を持ちながら生産コストの節約、生産効率の向上、製品の付加価値の増加、ブランド化の促進、販売チャンネルの拡大など、単一の合作社にない優位性を発揮している。</p> <p>最後に、第一章から第三章まで述べてきた農機專業合作社の農地出資の実態、剰余金分配と農民專業合作社連合社の機能と特性をまとめた上で、農機專業合作社の農地団地化經營形成の条件と持続的發展の要因を検討している。</p>	